

新型コロナウイルス感染症発生の終息のご報告

令和2年12月1日に新型コロナウイルス感染者が発生し、1週間後には院内クラスターにまで拡大し、12月17日には別の感染ルートと思われる新たなクラスターが発生したことで、1か月半もの長い間、患者様とご家族、地域の皆様、関係者の皆様など多くの方々に大変ご心配、ご迷惑をおかけしまして、深くお詫び申し上げます。

ご逝去されました患者さまには心よりご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族の方に哀悼の意を表します。

この度、最終陽性者の発症日である12月30日から14日が経過したため、県疾病対策課及び中部保健所と協議した結果、本日、1月13日をもって新型コロナウイルス感染症発生の終息したことをご報告いたします。

今回のクラスター発生の対応にあたり、中部保健所、県中部COVID-19対応のコーディネーターの先生方、救急搬送や重症患者様を受け入れて頂いた医療機関等、多くの皆様のご支援、ご指導を賜りました。今回の新型コロナウイルス感染終息には皆様のご協力がなければなし得る事ができませんでした。この場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。

また、個人の方や医療関係者、学校関係の皆様、企業・各種団体の皆様から医療用資材の提供やメッセージなど、たくさんのご支援、あたたかなお言葉は、これまで経験したことのない環境下で業務を行う私どもにとって心の拠り所となっていました。本当にありがとうございました。

現在当院におきましては、先週から救急搬送、新規入院患者の受け入れを再開し、1月14日以降は各専門外来を順次再開していきながら、速やかに通常の診療体制に戻す作業を進めております。

国内や静岡県、志太榛原地域でも感染者が増加している中、今まで以上に感染防止対策を強化し、安全で安心な療養環境の提供に努めてまいります。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年1月13日

榛原総合病院 院長 森田 信敏